

平成 28 年度第 2 回 犬山祭保存会理事・役員会議事録

日時	平成 28 年 9 月 17 日（土） 19:00～21:00
場所	犬山市福祉会館 303 会議室
出席者 (敬称略)	<p>【役員】 会長（石田）、会長代行（大澤）、副会長（多和田・大澤）、会計（下山）、財務特別委員会委員長（澤野）、祭礼準備委員長（水田）、伝統文化委員長（小林）、伝統文化副委員長（市橋・長井）、てこ委員長（長谷川）、てこ副委員長（浅野・吉田）、企画広報委員長代理（松田）、企画広報副委員長代理（西村）、事務局長（溝口）、会計補佐（松岡）</p> <p>【理事】 枝町（武藤）、魚屋町（小川）、下本町（柴田）、中本町（齋藤）、熊野町（浅野）、新町（佐守）、本町（河橋・兼松）、練屋町（吉田）、鍛冶屋町（前刀）、名栗町（田中）、寺内町（岩井）、余坂町（小島）、外町（多和田）、内田（板津）、鶉飼町（松田）</p> <p>【見学者】 愛知県立大学（河合）</p> <p>【犬山市】 観光交流課（大谷）、歴史まちづくり課（市野）</p>
議事	<p>I. 報告事項</p> <p>—</p> <p>II. 議題</p> <p>①からくり町巡りについて ②その他</p>
配布資料	<p>1. 「平成 28 年度第 2 回理事・役員会」資料</p> <p>2. 「秋のキャンペーン」パンフレット</p>

議事内容	
I. 報告事項	
報告／検討内容	—
決定事項	—
II. 議題 ①からくり町巡りについて	
報告／検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各町の開催時刻、場所等の確認（資料参照） ・ どんでん館での照明の設置は？ →保存会で手配する。 ・ 10/22 は文化史料館が、10/23 はどんでん館が入館料無料（終日）となる。 ・ 雨天の場合は、各町とも可能な限り車山蔵の開放を。 ・ 車山解体、車山組みの予定： →寺内町：10/16 解体、余坂町：10/16 車山組み ・ 予定時刻の実演終了後、人形はすぐに片付けても構わないか？ →基本的に各町の判断に任せるが、できればサービスでしばらく出しておけるとよい。但し、天候にもよるのであくまでも可能な範囲で。 ・ 鍛冶屋町の開催場所は？ →町内の空き地で開催予定。 ・ 本日の会議での詳細決定後、犬山祭企画委員会で案内看板等を作成予定。 ・ からくり町巡りの初日から、文化史料館で「犬山祭の懸装品展（ユネスコ無形文化遺産登録啓発事業）」を開催。懸装幕や金襦袢などの中から由来や来歴など

	に特長のあるものや華やかなものを中心に展示公開予定。ぜひ来館を。
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> 雨天の場合、からくり実演が不可能な町： →魚屋町、本町、練屋町、鍛冶屋町 車山蔵の開放が不可能な町： →寺内町、外町 出展料は、参加町内一律 5 万円（雨天の場合は、昨年同様、半額返金）。10/15 ㊥の理事役員会にて受け渡し予定。その際、各町とも弓張提灯（1 張）と手子半纏（1 着）を持参のこと。
II. 議題 ㉒その他（市役所市民プラザでの車山展示について 他）	
報告／検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ユネスコ無形文化遺産登録決定の前後（約 2 ヶ月間）、寺内町の車山の市民プラザへの展示を検討中。現時点では、10/16㊦（天気予備日：10/30㊦）に安全点検を兼ねた車山の解体を行い、同日、市民プラザへ搬入という予定で調整中。 登録決定時は、パブリックビューイングの実施を検討中。実施の際は、理事・役員は集合となるため予定を。
決定事項	—
II. 議題 ㉒その他（保存会の法人化について）	
報告／検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 保存会の法人化を検討したい。 事務局に、専従の事務局員を数人、有償で配置することを検討すべきである。 保存会の活動を担う次世代を育てる必要がある。理事会での議論が手子や若衆に共有され、彼らも発言ができるような組織にしたい。 法人化することによって生じるメリットとデメリットを知りたい。勉強会を開催してはどうか。 自ら活動の財源をつくることのできる組織を目指したい。 NPO 法人、一般社団法人のいずれでもよいと思われる。 保存会を法人化し、からくり展示館やどんでん館の指定管理者となることも検討したい。 あまり早急に話を進めると町内からの反発も予想される。時間をかけて議論をしてはどうか。 保存会が法人化された場合、車山の所有権はどうなるのか。 祭りに積極的に関わりたい人で保存会を運営していくのがよいと思われる。 法人化によって団体の信用度が上がることは望ましいことである。国指定文化財であり、ユネスコ登録の文化遺産となる犬山祭を担う団体として、次の世代のためにも責任ある組織にしておく必要がある。 法人化した場合は、常に各種の書類を整える必要が生じるため、手間がかかるということは覚悟しなければならない。 株式会社化している祭り保存会はないか。 法人化して経済力をつけることが重要。 後継者育成や資金調達など、現実にかかるさまざまな問題を打破していくためにも信用ある組織となることは有効である。 出不足料の制度は、表に出れば批判されるものであろう。犬山祭 16 町内の住民

	<p>は何かにつけて祭りの継続のために多額を出費している。そのことについては自負心をもってよいはずである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りは年1回のことだから集中して従事できる。年中祭りのことを考えろと言ってもそれは無理ではないか。 ・ 事務局の仕事には給与が支払われるべきである。 ・ 犬山では祭りを通して地域の助け合いが実践されている。一年中祭りのことを考えてはられない、というのはもったもだが、祭りを離れて、同じ地域に住む者同士で「何か困っていることはないか」という声を掛け合う関係が大事なのではないか。 ・ 法人化も重要だが、その前に町内の運営も大切。車山持ちの町内は一年中祭りのことを考えている。そのような町が自町内の将来像をどう描けるのか。希望や見通しについて町内で話し合いを。それを次の世代へ受け継ぐことができなければ町は消滅してしまう。
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人化についての議論を始める時期が来ている。専門家の話や観光協会などの事例を聞く機会を設けたい。まずは議論のための資料を用意する。
II. 議題 ②その他 (今後のスケジュールについて)	
報告/検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後のスケジュールの確認 (資料参照) <ul style="list-style-type: none"> ①理事は積極的に参加を。 ②理事役員は原則参加。 ④犬山市全体の祝賀会とする。神社へも声をかける。3,000円程度の会費で開催したい。各所への資金援助も願います。理事役員は参加を。 ⑤理事役員は積極的に参加を。 ⑥関心のある方は参加を。
決定事項	—
懸案事項/その他補足	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 犬山祭のドキュメンタリー映画を製作したい。市で製作することはできないか、近々教育長に相談する予定なので、後日結果を報告する (会長)。 ・ 伝統文化委員会の委員会開催について <ul style="list-style-type: none"> →9/24⓪19:00 から福祉会館にて委員会開催予定。各町理事から伝統文化委員へ連絡を (別途、案内通知も送付予定)。 ・ てこ委員会による岸和田だんじり祭の見学について <ul style="list-style-type: none"> →9/17⓪、てこ委員会6名で見学。5:40amの現地到着時に駐車場は既に満車であった。栈敷席は2,000~5,000円の席が設けられていた。 →1輛のだんじりに約1,000人が付いて回る。女性や子どもも4割程含まれており、警察の警備のほか自主警備の数も多かった。また、各年代の人にそれぞれ祭りの役割があるとのことだった。祭りを支える人口が多いことが岸和田だんじり祭の強みであろう。 	

次回日時	平成28年10月15日(土) 19:00~21:00
次回場所	福祉会館

記録日	H28/9/20
記録者	市野